

危機情報論のプロによる**遭難失敗学**の決定版

# 山岳遭難の構図

すべての事故には理由がある

青山千彰 著

年間1,300件、死者250人にも及ぶ山の遭難。だが、これまで事故の科学的な分析が行われてきたと言えるだろうか。遭難生還者による経験的な説明にとどまっていたのではなかったか—。

関西大学総合情報学部教授であり、日本山岳協会遭難対策常任委員の著者が豊富な事故データベースを駆使し、遭難の「迷宮」から脱出する「鍵」を提起している。毎年500人前後が遭難している道迷い事故では、実際、道迷い実験を敢行。人がなぜ、どう迷ってゆくかを指摘、その対処法を教えてください。

山の専門誌「岳人」連載「山の危機情報論」を大幅に改編、加筆—。



A5判 並製  
158 ページ  
定価 1,785 円  
(本体 1,700 円 + 税 5%)



## 『山岳遭難の構図』お申込書

このチラシでお申し込みの方に、上記の書籍『山岳遭難の構図』を、送料無料でお届けいたします。

ご注文の際は、この用紙に必要事項ご記入のうえ、下記FAXまたは住所までお送りください。お支払いは、納品時に同封いたします振込み用紙で、郵便局にてお振込みください。

お名前

ご住所

お電話

**FAX 番号：03-3595-4831**

ご注文

冊

**東京新聞出版局**  
(中日新聞東京本社)

〒100-8505 東京都千代田区内幸町 2-1-4

TEL03-6910-2527 FAX03-3595-4831 <http://www.tokyo-np.co.jp/tbook/>